

2025年度版

QCサークル 長野地区 活動のご案内



～活発なQCサークル活動 (小集団改善活動)で
企業・組織・個の成長を目指そう～

QCサークル関東支部長野地区

はじめに

戦後も混乱期を脱した1960年代からの日本産業界、特に製造業を中心とした品質向上活動、生産性向上活動は驚くべき発展をとげてまいりました。その一翼を担ってきたのがQCサークル活動であったことは日本国内のみならず、国際的にも広く知られてきました。

QCサークル活動は、1962年4月に石川馨（かおる）先生を中心に始められ、「QCサークル活動は人間性にあった活動である。したがって、いかなる国であろうとも どのように時代が変わるともその基本精神に変わりはない」という石川馨先生の高邁*1（こうまい）な理想の下に、多くの企業で進められてきました。（*1 けだかく、衆（しゅう=多くの人）にすぐれていること。）

国内では、製造業のみならずサービス産業へも広がりを見せ、また海外でも80数カ国/地域で普及してきました。企業を取り巻く社会・経済環境の変化はめまぐるしく、企業の不断の体質改善（強化）が求められる中、QCサークル活動の意義は益々その光を増しています。

QCサークル関東支部長野地区では、準幹事会社制度を設けるなどQCサークル活動の普及拡大に努めております。私たちの活動を広くご紹介するため、パンフレットを作成致しました。

1人でも多くの皆様に「準幹事会社、幹事会社への仲間入り」をして頂きまして、貴社の益々のご発展とご隆盛にお役立て頂ければ幸いに存じます。

QCサークルの基本

QCサークル活動とは

QCサークルとは、

第一線の職場で働く人々が
継続的に製品・サービス・仕事などの質の管理・改善を行う
小グループである。

この小グループは、

運営を自主的に行い
QCの考え方・手法などを活用し
創造性を発揮し
自己啓発・相互啓発をはかり
活動を進める。

この活動は、

QCサークルメンバーの能力向上・自己実現
明るく活気に満ちた生きがいのある職場づくり
お客様満足の向上および社会への貢献
をめざす。

経営者・管理者は、

この活動を企業の体質改善・発展に寄与させるために
人材育成・職場活性化の重要な活動として位置づけ
自らTQMなどの全社的活動を実践するとともに
人間性を尊重し全員参加をめざした指導・支援を行う。

QCサークル活動の基本理念

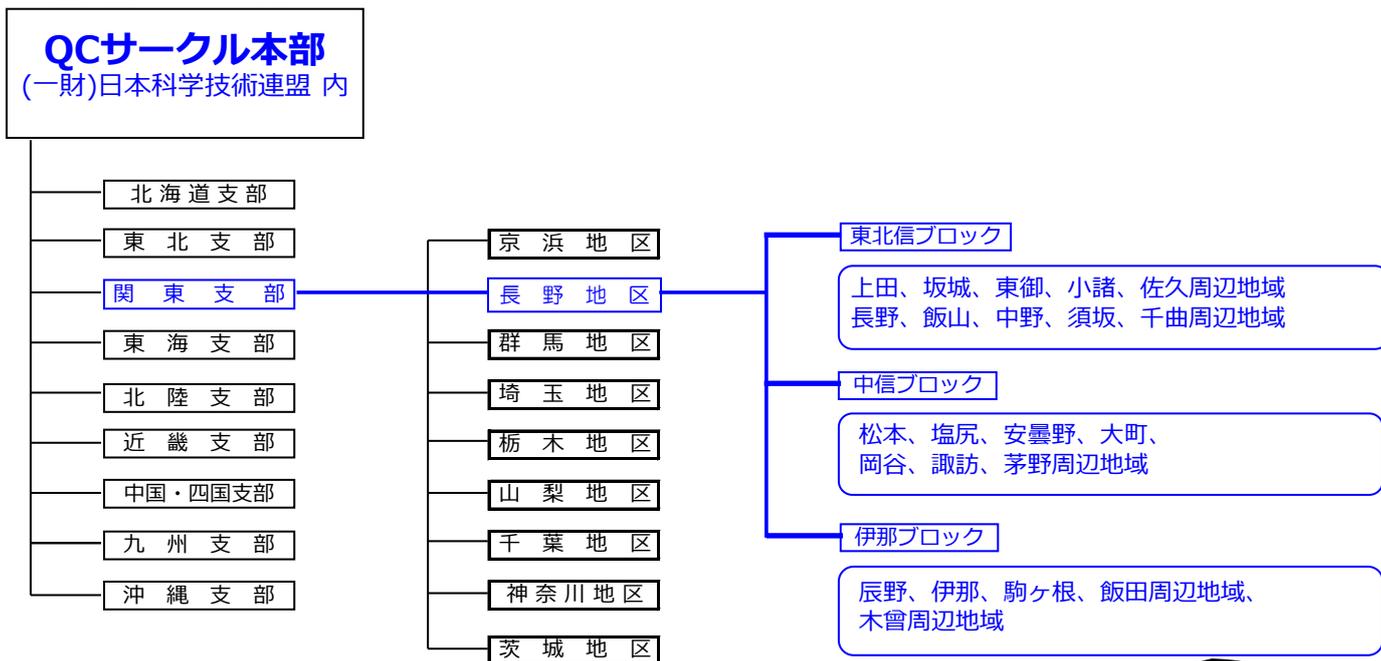
人間の能力を発揮し、無限の可能性を引き出す。
人間性を尊重して、生きがいのある明るい職場を作る。
企業の体質改善・発展に寄与する。

(1995年 3月 改訂)

QCサークルの組織

☆ QCサークルの全国組織

QCサークルの全国組織は、（一財）日本科学技術連盟と全国の主要な企業のボランティアによって組織化され、運営されております。



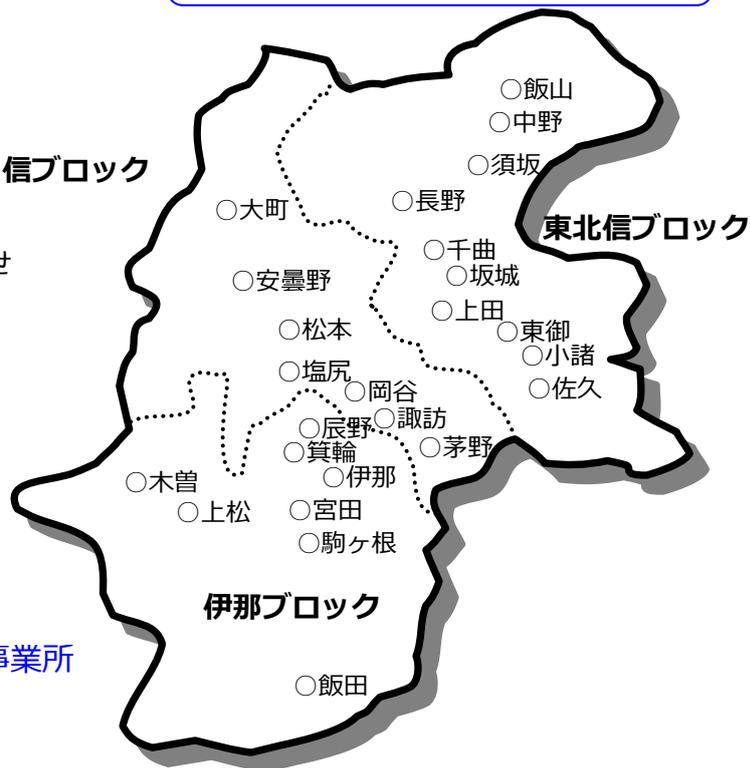
地区活動の特徴

- ・ 地理的条件を考慮し、県内3ブロックに分け運営を行なっています。
- ・ QCサークル活動の発表会はそれぞれに特色を持たせ参加者のニーズに応えるべく工夫をしています。
- ・ 発表された優秀サークルは長野地区代表として関東支部大会に出場しています。
- ・ リーダー研修会、幹事研修会を開催し、常にレベル向上を目指しています。

中信ブロック

東北信ブロック

伊那ブロック



2025年度 地区長会社

地区長会社 日立Astemo(株)東御工場
副地区長会社 セイコーエプソン(株)広丘事業所

2025年度 事務局会社

東北信ブロック 長野計器(株)
中信ブロック 富士電機パワーセミコンダクタ(株)大町工場
伊那ブロック タカノ(株)

長野地区の最新情報はこちらからご確認ください
<https://qc-members.jp/kanto/nagano>



【お問合せ先】

QCサークル関東支部長野地区事務局
日立Astemo(株) 東御工場
宮崎 美果
mika.miyazaki.jk@hitachiastemo.com
新山 直
tadashi.niiyama.wu@hitachiastemo.com
竹内 康智
yasutomo.takeuchi.eh@hitachiastemo.com
TEL : 0268-62-5290

【関東支部ビジョン】

〈ミッション〉

- ・QCサークル活動（小集団改善活動）で、志・意欲を高め、企業発展に貢献する
- *顧客は、各地区、各企業のQCサークルメンバーなど

〈ビジョン〉

- ・企業・サークル・支部・地区の目指す姿→QCサークルハッピー
- *QCサークル活動でつながる輪・目標達成・やるきUp・企業業績Up

〈バリュー〉

- ・QCが好きであること
- *意識の維持・心・志・向上心

＜2025年度 関東支部 方針＞

1. 活動基盤 課題1：経営者層に支持される組織

1.1 QCサークル活動への企業経営者層の更なる理解向上

- ①経営者フォーラムを企画検討し実施する
- ②経営者コミュニティの講演内容の共有化を図る

1.2 幹事会社・幹事への経営者層の理解・支援の向上

- ③上記①②にて、地区活動参画のメリットを経営者層にアピールする
- ④支部・地区運営体制の維持及び活性化のため、一般企業の経営者層等を対象に支部大会等への招待券発行を継続する

2. 活動基盤 課題4：時代の変化への対応

2.1 社会やお客様の価値観の変化、ニューノーマル化、DX等を踏まえたQCサークル活動運営の改革

- ①24年度実績をもとに様々なメリットを考慮した実施方法の検討及びコロナ禍以前の状態への回復を目指す、戻すべき行事・会議を検討
- ②地区運営、大会運営の両面でDXを推進し、運営の効率化と仲間拡大に結びつける
- ③現状業務（行事）の見直し

3. 地区課題 課題2：地区共通の課題への対応、及び、地区固有の課題への支援

3.1 新たな仲間づくりの促進

- ①幹事会や交流会、研修会等で各地区共有課題を議論し、課題の方策の道筋を決める

3.2 実働可能な幹事会社・幹事減少への対応としての負荷削減

- ②地区運営自慢、活動企業・組織の拡大 仲間を増やす活動の内容を有効活用する
- ③他地区の大会・イベント等情報の展開を継続し、地区幹事留学制度を活用し活動する
- ④地区を超えた事務局間の情報交換・共有のために、事務局会議&交流会を開催する
- ⑤地区を超えた幹事間の情報交換・共有のために、幹事交流会を開催する

4. 質&能力向上 課題3：地区役員・幹事高齢化に伴う、若手幹事の育成・能力向上

4.1 地区共有の課題抽出と対応

若手幹事の育成・能力向上のため

- ①改善事例・運営事例選抜大会の継続実施
- ②QCC指導スキル向上を継続する
- ③研修後に、地区サークルのレベルアップに貢献する



活動基本方針

長野地区

【基本方針】

- ・QCサークル長野地区活動の持続的成長のため、地区・ブロック活動を効果的に推進する。
- ・QCサークル活動（小集団改善活動）によって、人間力・仕事力・職場力・組織力の向上と強化を図るとともに、この活動の有効性を広く周知し、企業の体質改善や発展につなげる。

<2025年度 長野地区方針>

【スローガン】

『コミュニケーションを通じたQCサークル活動(小集団改善活動)を推進し、
サステナブルな社会を実現しよう!』

1. 人づくりの実践、人間力・仕事力の向上に活かせる魅力ある研修会、発表大会の企画・運営
2. 幹事の相互研鑽により個々のレベルアップを図り、それぞれの地区・ブロック・企業に貢献できる人財を育成（幹事会社・幹事としてのメリットの追及と幹事のレベルアップを図る）
3. 運営事例選抜大会参加サークル選出と支援活動の継続（JHS部門への育成・選出も継続して検討）
4. 一般企業経営者層への継続的なアプローチと積極的なPR活動の展開
5. 持続可能な活動基盤（組織と財政）の強化

長野地区の歩み

年度	長野地区関係の主な出来事
1969	関東支部諏訪地区の発足
	10月:第111回QCサークル大会（岡谷）開催
1970	関東支部長野地区の発足、ブロック制の採用
1972	1月:第171回QCサークル大会（長野）開催
1973	QCサークル長野地区規定の制定
1977	QCサークル幹事マニュアル(長野地区)発行
1978	QCサークル長野地区10周年 記念行事、大会開催（松本）
1987	QCサークル長野地区15周年 記念行事、大会開催（岡谷）
1993	QCサークル長野地区20周年 記念行事、大会開催（松本）

年度	長野地区関係の主な出来事
1994	QCサークル長野地区25周年 記念行事、大会開催（松本） 各種地区大会にて『課題達成型QCストーリー』 での体験談発表登場
1995	QCサークル新任幹事マニュアル(長野地区)発行
1998	QCサークル長野地区30周年 記念行事、大会開催（塩尻）
2003	QCサークル長野地区35周年
2008	QCサークル長野地区40周年
2013	QCサークル長野地区45周年
2018	QCサークル長野地区50周年
2023	QCサークル長野地区55周年

長野地区代表の活躍

1.QCサークル本部 本部長賞 受賞状況

* 受賞年度順／1971年（昭和46年）より

年度	会社名	受賞
1975	(株)三協精機製作所	本部長賞 金賞
1976	三協光学工業(株)	本部長賞 銀賞
1977	(株)三協精機製作所	本部長賞 金賞
1978	(株)三協精機製作所	本部長賞 金賞
1979	信州精機(株) 村井工場	本部長賞 銀賞
1982	富士電機製造(株) 松本工場	本部長賞 銀賞
1983	富士電機製造(株) 松本工場	本部長賞 金賞
1984	富士電機(株) 松本工場	本部長賞 銀賞
1985	富士電機(株) 松本工場	本部長賞 銀賞
1986	富士電機(株) 松本工場	本部長賞 銀賞
1991	富士電機(株) 松本工場	本部長賞 金賞
1992	(株)三協精機製作所 下諏訪工場	本部長賞 銀賞
1994	富士電機(株) 松本工場	本部長賞 銀賞
1996	関西電力(株) 黒四管理事務所	本部長賞 銀賞
1997	GAC(株) 豊科工場	本部長賞 銀賞
	富士電機(株) 松本工場	本部長賞 金賞
1998	富士電機(株) 松本工場	本部長賞 金賞
2000	富士電機(株) 松本工場	本部長賞 銀賞
2002	富士電機(株) 電子カバニ-松本工場	本部長賞 銀賞
2003	富士電機(株) 電子カバニ-松本工場	本部長賞 銀賞
2004	富士電機デバイステクノロジー(株) 半導体	本部長賞 銀賞
2011	NTN(株) 長野製作所	本部長賞 銀賞

* 事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門／2008年より増設

年度	会社名	受賞
2015	サンサージャパン(株) 長野刈込	本部長賞 (JHS部門) 金賞
2016	セー-I°リン(株) 塩尻事業所	本部長賞 (JHS部門) 銀賞

2.QCサークル関東支部 支部長賞 受賞状況

* 受賞年度順/1986年（昭和61年）より

年度	会社名	受賞		
1990	セイ-IP°(株) 水晶デバ`イ事業部	支部長賞		
1991	セイ-IP°(株) 水晶デバ`イ事業部	支部長賞		
1994	セイ-IP°(株) 諏訪南事業部	支部長賞		
1995	セイ-IP°(株) 諏訪南事業部	支部長賞		
	旭松食品(株) 本店	支部長賞		
1996	GAC(株)	支部長賞		
1997	セイ-IP°(株) 諏訪南事業部	支部長賞		
	岡谷富士光機(株)	支部長賞		
1998	岡谷富士光機(株)	支部長賞		
2002	長野電子工業(株)	支部長賞		
2003	長野電子工業(株)	支部長賞		
	富士電機デバ`イテクノロジー(株)	支部長賞		
2004	長野電子工業(株)	支部長賞		
2005	GAC(株)	支部長賞		
				※賞名変更
2006	長野電子工業(株)	総合部門	支部長賞	金賞
2007	長野電子工業(株)	総合部門	支部長賞	
2008	セイ-IP°(株) 情報画像事業本部	総合部門	支部長賞	金賞
2009	セイ-IP°(株) 富士見事業所	総合部門	支部長賞	金賞
2010	セイ-IP°(株) 広丘事業所	総合部門	支部長賞	
2011	セイ-IP°(株) 広丘事業所	総合部門	支部長賞	
2012	アート金属工業(株)	総合部門	支部長賞	
2013	アート金属工業(株)	総合部門	支部長賞	
2014	NTN(株) 長野製作所	総合部門	支部長賞	
2015	セイ-IP°(株) UIアラブル機器事業部	総合部門	支部長賞	
2016	セイ-IP°(株) UIアラブル機器事業部	総合部門	支部長賞	
2017	(株)アミ村田製作所	総合部門	支部長賞	
2018	富士電機(株) 松本工場	総合部門	支部長賞	金賞
2019	上松電子(株)	総合部門	支部長賞	金賞
2021	富士電機(株) 松本工場	総合部門	支部長賞	金賞
2022	富士電機(株) 松本工場	総合部門	支部長賞	金賞
2023	富士電機(株) 松本工場	総合部門	支部長賞	
2024	富士電機(株) 松本工場	総合部門	支部長賞	

* 事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門／2006年より増設

年度	会社名	受賞	
2007	JA長野厚生連 佐久総合病院 老人保健施設こうみ	J H S 部門	金賞
2009	長野電子工業(株)	J H S 部門	金賞
2010	JA長野厚生連 佐久総合病院	J H S 部門	銀賞
2011	長野電子工業(株)	J H S 部門	銀賞
2012	セー-IP°(株) 広丘事業所 機器要素技術開発本部	J H S 部門	金賞
2013	セー-IP°(株) 塩尻事業所	J H S 部門	金賞
2014	(株)NTN上伊那製作所	J H S 部門	金賞
2015	セー-IP°(株) 塩尻事業所	J H S 部門	金賞
2016	(株)NTN上伊那製作所	J H S 部門	銀賞
2017	JA長野厚生連 佐久総合病院	J H S 部門	金賞
2018	JA長野厚生連 佐久総合病院	J H S 部門	支部長賞
2019	タカノ(株) ファニチャー部門	J H S 部門	支部長賞
2021	JA長野厚生連 佐久総合病院	J H S 部門	支部長賞
2022	タカノ(株) ファニチャー部門	J H S 部門	支部長賞
2023	(株)NTN上伊那製作所	J H S 部門	支部長賞
2024	(株)NTN上伊那製作所	J H S 部門	支部長賞 金賞

※JHS部門
賞名変更

3.QCサークル石川 馨賞 受賞状況（掲載年度順）

* 受賞年度順／1990年に「FQC賞」を「QCサークル石川 馨賞」と改称しました

年度	会社名
1971	利川光学工業(株) 伊那工場
1975	協和光機(株)
1977	塩尻工業(株)
	(株)諏訪精工舎
1978	(株)諏訪精工舎
	伊那三協(株)
	(株)三協精機製作所
	飯田三協(株)
1983	富士電機製造(株) 松本工場
1984	富士電機製造(株) 松本工場
1986	富士電機(株) 松本工場
1988	セイブ工業(株) 諏訪南工場
1989	セイブ工業(株) 村井事業所
1991	セイブ工業(株) 伊那事業所
1992	富士電機(株) 松本工場
1995	セイブ工業(株) ウチ事業部
1999	シナノ(株)
	岡谷富士光機(株)
2001	富士電機(株) 松本工場
	岡谷富士光機(株)
2003	セイブ工業(株) 半導体事業部

年度	会社名
2004	セイブ工業(株) 半導体事業部 富士見事業所 (株)大町富士 RTR工場
2006	効ノ(株) GAC(株)
2007	長野電子工業(株) JA長野厚生連 佐久総合病院 美里分院
2010	効ノ(株) 長野電子工業(株)

* 石川 馨賞 奨励賞／2013年より増設

年度	会社名
2015	JA長野厚生連 下伊那厚生病院
2018	上松電子(株) JA長野厚生連 富士見高原医療福祉センター
2020	JA長野厚生連 佐久総合病院

4.その他表彰

* QCサークル活動（小集団改善活動）

優良企業・事業所表彰／2013年創設

年度	会社名
2016	セイブ工業(株) 塩尻事業所
2020	NTN(株) 長野製作所
2022	長野計器(株)

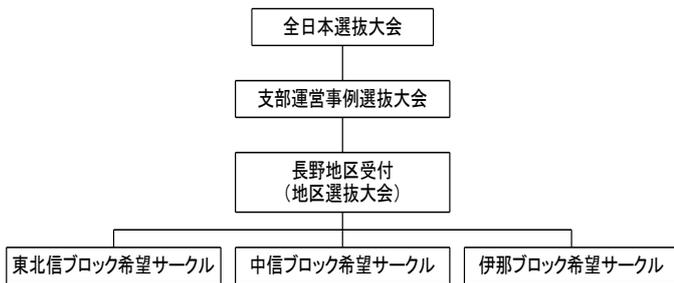
* QCサークル推進 石川 馨賞／2015年創設

年度	会社名
2017	長野計器(株)
2019	NTN(株) 長野製作所
2022	日立Astemo(株)東御工場

大会の位置づけ

(1) 地区運営事例選抜大会 資格

※QCサークル本部長賞規定を満たしたサークル



(2) 地区改善事例チャンピオン大会 資格

※各ブロック大会で大会賞を受賞したサークル



幹事会社のメリット

1. 各大会の発表参加、地区やブロックで行なわれる研修会に優先参加（参加が割引されることがあります）
できるため、自社のQCサークル活動のレベルアップにつながります。
2. 地区・ブロック活動を通じて幹事自身の自己啓発、相互啓発の場となりQCサークル活動の土壌づくりに積極的になります。また、QCサークル活動の社内評価が高まり、TQM活動などが充実します。
3. 地域の会社と交流して多くの情報・知識を得ることができ、地域会社への貢献する喜びが生じます。
また、他業種・異業種の人たちと接して、社会的・人間的視野が広がります。
4. 発表会・研修会などを通じて、他社の良い点を導入できます。また、広い分野で他社との交流ができます。

幹事会社の役割

☆ 幹事（会社）とは・・・地区（ブロック）の行事を企画・立案し、地区（ブロック）の運営を実務担当します。
また、QCサークル活動の普及拡大に努め、
活動を通じて幹事の自己成長を図り、自社の活動を発展させ、地域社会に奉仕します。

1. 地区及びブロック内のQCサークル活動の普及と啓蒙のための活動
 - (1) 地区、ブロックの年間活動計画の立案
 - (2) 各行事（大会、研修会）の立案と実施
 - (3) ブロック、地区、支部間の情報交換
 - (4) その他、QCサークルの普及と啓蒙の為の諸活動
2. 企業・団体等におけるQCサークル活動の推進とレベルアップ
 - (1) 社外におけるQCサークル活動の推進とレベルアップ
 - (2) 自社の関連する企業へのQCサークル活動の普及、拡大をはかる

幹事会社としての会費

☆ 長野地区の運営資金としては、長野地区（各ブロック）主催の各種行事の参加費を持って当てております。
また、年会費を徴収しております。（但し、加盟初年度は無料になります。）
☆ 幹事の報酬はありません。

準幹事会社のメリット

☆ 準幹事会社とは、長野地区内のQCサークル活動の活性化と普及拡大を目的に、2007年度より取り入れた制度であり、QCサークル活動などの小集団改善活動を取り入れたいものの、幹事会社としての参画が困難な企業が一部の行事をお手伝いいただく代わりに、その行事に優先的（幹事会社扱い）で参加出来る制度です。会費はありませんが、近い将来幹事会社として参画いただくことをお願いしております。

QCサークル活動の効果

この活動が「QCサークル活動の基本理念」の実現に向けて正しく活発に推進が図られることによって、「企業は人なり」の実態づくりに貢献することになります。

すなわち、トップ・経営者、管理者、サークルの人達の各々が次のような実感が持てる具体的な実績を生み出すことができます。

* トップ・経営者

社員の幸福と企業の活力を生み出し、社業発展の基礎固めに役立ちます。

* 管理者

業務目的を充実達成できる部下の育成と組織力を築くことができます。

【具体的には】

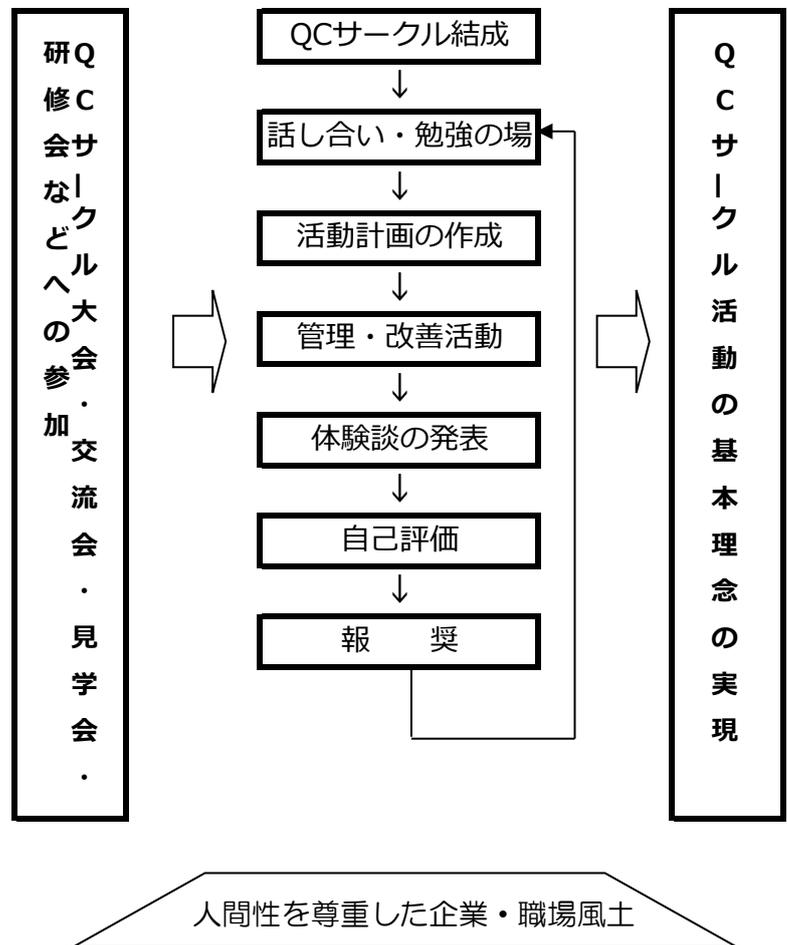
- ・問題意識、管理・改善意識が向上した
- ・職場が活性化した
- ・QC手法をよく活用するようになった
- ・品質向上した
- ・責任感が向上した
- ・人間関係が向上した
- ・自主的になった
- ・仕事が円滑に進むようになった

* サークルの人達

働きがいと人生の価値を高めることに役立ちます。

【具体的には】

- ・グループとして問題意識が向上した
- ・仕事がやりやすくなった
- ・リーダーとして勉強ができた
- ・上司に意見がよく伝わるようになった
- ・チームワークが向上した
- ・改善意識が向上した
- ・製品品質が向上した
- ・職場が明るくなった
- ・問題解決力がアップした
- ・重要度や緊急度の理解ができた
- ・全般に数値での把握が向上した
- ・認められ、励まされ、やる気が高まる
- ・管理・改善能力が向上する



QCサークル活動のしくみ概念図



【関東支部Q（旗）マーク】

QCサークル関東支部長野地区活動パンフレット

発行所 : QCサークル関東支部長野地区

初版発行 : 1995年11月6日

第21改訂 : 2025年3月19日